

令和3年4月 保育所等利用申請・待機状況

区分	令和3年4月	令和2年4月	平成31年4月
利用申請者数(A)	35,398	34,743	33,471
前年との比較	655	1,272	1,702
利用児童数(B)	33,552	32,296	30,699
前年との比較	1,256	1,597	1,890
保留児童数(A)-(B)=(C)	1,846	2,447	2,772
前年との比較	▲601	▲325	▲188
市の保育施策で対応している児童数等(D)	525	884	1,138
川崎認定保育園等対応児童数	345	628	808
おなかま保育室対応児童数	31	61	123
一時保育対応児童数	69	90	88
幼稚園預かり保育対応児童数	29	40	28
事業所内保育対応児童数 ※1	9	15	23
年度限定型保育対応児童数 ※2	42	50	68
企業主導型保育対応児童数(E) ※3	115	143	148
育休関係の申請者数(F) ※4	687	570	601
特定の保育所等を希望する申請者数(G) ※5	462	726	745
求職活動を休止している申請者数(H) ※6	57	112	126
待機児童数(C)-(D)-(E)-(F)-(G)-(H)	0	12	14
前年との比較	▲12	▲2	▲4

※1 「事業所内保育」:地域型保育(事業所内保育)に従業員枠で利用する方、又は県・市費により運営費支援等を受けている

※2 「年度限定型保育」:保育所等への利用が保留となり、1・2歳児を期間限定で預かる年度限定型保育事業を利用する方

※3 「企業主導型保育」:企業主導型保育事業に従業員枠又は地域枠で利用する方

※4 「育休関係」:10月1日時点で育児休業を取得されていて、復職の意向がないことを確認できた方

※5 「特定の保育所等」:利用可能な保育所等があるにもかかわらず利用を辞退した方、通常の交通手段により自宅から20～30分の圏外にある保育施設があるにもかかわらず利用を希望されない方など

※6 「求職活動を休止」:主に在宅で職を探すなど、保育の必要性が認められない方